



後期入学生のみなさん、御入学おめでとうございます。通信制課程では、いろいろな行事が予定されています。参加して、友垣の輪を広げましょう。

この号より、生徒会報が季刊（年4回発行予定）となります。内容を工夫しながら制作していきますので、読んでいただき、その感想を生徒会までお伝えください。本号は、冬号としました。10月に入っても暑い日が続き、まだ冬の実感はありませんが、11月7日には立冬を迎え、暦の中では冬となります。11月を冬号、2月を春号、6月を夏号、9月を秋号として発刊する予定にしています。ぜひ、お楽しみください。

## 令和6年度 生徒生活体験発表大会

前期に行われた生徒生活発表大会では、8名の方々の発表を聞くことができました。その結果については、友垣通信9月号に掲載されています。御確認ください。生徒会では、発表者に、なぜ発表しようと思ったのか質問しました。

（Sさん）昨年の通教の時間のレポートで「私を変えた出来事・出会い」という題の作文をした際、その担当だった先生が推薦してくださったようで、担任や生徒会担当の先生から声をかけていただき挑戦することになりました。

（Yさん）悩みから脱出する方法は、人によって様々あります。私のケースが、少しでも皆様の助けになればと思い、今回お話を受けさせて頂きました。どうか皆様も、皆様なりの悩みとの付き合い方を見つけられますように。

きっかけは、様々です。しかし、いろいろな想いをもって松山東高校通信制に集まった友垣の発表を聞くことは、私たちのこれからを考える助けになったことは間違いなく感じます。また、この会報の原稿を書いている現在も、東京六本木で行われる生徒生活体験発表大会全国大会を目指し、努力している友垣がいます。今年の代表の活躍を応援するとともに、来年は自分の番と考えてみませんか。

## 今後の活動について・諸連絡

- 11月12日には後期遠足があります。東予・中予・南予に分かれて実施します。友垣との交流を深められる良い機会ですので、ぜひ参加してみてください。
- 自動販売機の横にある箱でペットボトルのキャップを回収しています。御協力よろしくお願いします。
- 職員室には、多くの落とし物が届けられているそうです。なかには、学習書や、協力校での忘れ物もあります。心当たりのある方は、通信制職員室のレポート提出物横や全日制職員室前のロッカーを確認してください。

## 生徒会より

- 9月1日には、定通制総合体育大会が行われました。多くのサークルで素晴らしい成績を残すことが出来ました。みなさん大変お疲れ様でした。
- 生徒会が、学校案内のパンフレットの表紙を飾ることになりました。ホワイトボードに飾り付けをして撮影しました。どのように完成するのか、お楽しみに！！
- 12月には、生徒会役員選挙が行われます。一緒に学校行事の運営をしてみませんか？活動は、毎月1回役員で集まり、行事の内容を相談したり準備をしています。興味のある方は、生徒会担当の先生に連絡してみてください。（生徒会担当 Y.N. T.H. M.S. A.H. 協力 K.S.）

## 北条清新高校（新校について都築教頭先生に聞きました）

①新しく学校をつくることになったきっかけを教えてください。

A.「自由で柔軟な学びの場」をコンセプトに、充実した学校生活を送るための教育環境を提供するためです。社会の変化や多様性に合わせて、愛媛県に新しい学校をつくるという話になりました。

②学校名が決まった経緯を教えてください。

A.これから学校に通う中高生の意見を大切にして、アンケート結果を踏まえて決定しました。北条という地名を残したいという声が多くありました。

③学校が変わることで何か変化はありますか？

A.一番は「通信制」と「昼間二部定時制」を併置する学校になることです。通信制の生徒も定時制の授業を受けやすくなります。定時制の授業を受けることで、新しい人間関係が築けたり、世界が広がったりするのではないかと考えています。選択できる授業数が増えるため、自分の目指す進路や生活スタイルに合った学校生活が送れることになると思います。

④松山東通信制と北条清新通信制で変わることはなんですか？

A.「通定併修」これが一番大きく変わる部分だと思います。また、カフェテラスのような自由に過ごせる場所を設けることで、学校生活に余裕ができると期待しています。さらに、通定交流の場として、合同で実施できる学校行事などについても検討しています。

教頭先生、お忙しいなかありがとうございました！皆さんも新校に期待することはありませんか？もしかしたら実現できることがあるかもしれません。生徒会まで、お伝えください。

## 働くということ（学校事務の石村ひまりさんに聞きました）

愛媛県職員・初級に合格され、高校卒業後に、松山東高校通信制に赴任された、事務の石村ひまりさんにインタビューをしました。同世代でもあり、身近な存在でもある方が、どのようにして自分の働き場所を決めたか、就職を考えている方は、ぜひ参考にしてください！

①なぜ県職員に就こうと思ったのですか？

A.福利厚生がしっかりしているところ、異動があるため様々な職場で経験を積めるところに魅力を感じたからです。

②学校事務とは、どのようなお仕事ですか？

A.電話対応、各種支払い、生徒会費の会計管理、物品の購入など、学校の円滑な運営のために日々仕事に取り組んでいます。お金を扱うため、集中力が必要です。

③県職員初級に合格する為にどのような勉強をしましたか？

A.公務員採用試験対策の参考書を解いたり、公務員専門学校で模試を受けたりして、問題の雰囲気になれるように努力しました。模試を受けたことが一番役に立ったと思います。

④勉強や仕事に疲れたときの気分転換の方法を教えてください。

A.好きなアーティスト（ZERO BASE ONE）のライブに行ってリフレッシュしています。今年もまだライブに行く機会があるのでとても楽しみです！

⑤通信制高校に赴任してきてどのように感じていますか？

A.日曜日に学校があることに驚きましたが、だいぶ慣れてきました。先生方も優しく、和やかな雰囲気の仕事ができています。

高校時代はコンビニでアルバイトをしていた石村さん。そのときに培ったコミュニケーション能力が今でも生かされているそうです。高校生の私たちにとってためになる話ばかりでした。ありがとうございました！！